江東区立深川第八中学校

八　汐

令和元年１０月４日発行
第１５号「生徒会選挙号」
発行人　校長　栗 生 忠 義

教育目標　「目主・自立ー豊かな心を持ち、自ら学び、心身が健康な生徒を育成するー」
URL　http://fuka8-chu.koto.ed.jp　e-mail　fuka8-chu@koto-edu.jp

新生徒会役員

洋々たる令和の海に進路をとれ！

令和元年度後期・令和２年度前期生徒会役員

会　長	２年５組	小峰詩苑
副会長	２年４組	小川姫奈
	１年３組	塚越大歩
役　員	２年１組	直井愛佳
	２年２組	佐藤伽音
	１年３組	西川志陽
	１年４組	大橋雅騎

９月２７日（金）に生徒会役員候補立ち合い演説会と選挙がありました。２年生は会長１名を含む４名、１年生は役員３名を選ぶ選挙です。毎年のことですが立ち合い演説会では、どの候補者も真剣に臨み、自らの考えと公約について壇上より力強く訴えていました。選挙ですので、当落はあるものです。当選した人は、当然ですが、力を尽くしてほしいものです。また惜しくも落選した人も、学級や学年の中で活躍するポジションがあると思います。活躍のステージは違いますが、仲間のために力を尽くすという点では何ら変わりはありません。みんなのためにという尊い気持ちを大切にして欲しいと思います。

10月の主な行事

2日(水)　江東区中学校連合陸上大会(於:江戸川陸上競技場)　〔3日(木)予備日〕
4日(金)　こうとう学びスタンダード定着度調査
5日(土)　特別支援学級合同体育大会(於:本校校庭)　〔6日(日)予備日〕
11日(金)　前期終業式
15日(火)　後期始業式
16日(水)　教科交流授業研究の日
26日(土)　学芸発表会
28日(月)　振り替え休業日　授業はありません

秀逸

紫陽花や逆さにうつる水たまり　三年　源　香奈帆
評：「逆さにうつる」で見ているのが、足下の水たまりの紫陽花ということがわかります。雨も上がったのでしょう。

打ち上がる花火も気持ちも夏休み　三年　佐藤　仁姫
評：誰と花火を見ているのでしょう。打ち上がる気持ちで、花火大会の楽しさが伝わってきます。並立にすることで、花火の季重なりが気になりません。

「勉強する」言ってはいたが…夏休み　三年　板橋　航
評：受験生の悲哀を感じる句です。夏休みもお盆を過ぎて後半戦、上手く進まなかった学習計画。残暑は続くも、そこまで秋は迫っています。

打ち上がる夜空見上げて夏休み　二年　中川　俊聖
評：打ち上がる夜空で花火大会を見事に表現しています。次から次へと打ち上がる花火の美しさに釘付けになっているのでしょう。

見上げれば青一色の夏休み　二年　直井　愛佳
評：青一色の空のように、日常のさまざまなことから解き放たれた読み手の気持ちがうかがえます。きっと今日から夏休みなのでしょう。

学校は記憶の彼方夏休み　二年　赤嶺　済
評：お盆も近くなり、夏休みど真ん中。部活や補習、水泳教室など夏休みの行事もなくなり学校を離れ、夏休みを満喫しているのでしょう。

夕暮れの空と帰った夏休み　一年　近藤　凛々子
評：梅雨も明け、毎日夏休みを満喫しているのでしょう。日も長く、汗びっしょりで遊んだ夕暮れの空はきっと夕焼けで真っ赤なのでしょう。

流れゆく日々と宿題夏休み　一年　鈴木　穂実
評：流れゆくの句はいくつかありましたが、これもまた遊びほうけてしまった日々の時間と学習計画がどうにもならない憂鬱さを感じさせます。

八汐俳壇　晩夏俳句会　梅雨そして夏休み編

入選

見上げれば宿題山づみ夏休み　三年　白川　稜也
見上げれば空と君と夏休み　三年　ラシラビヤジェパンマイ
落ち着かない部活無い日々夏休み　三年　金子　詩音
打ち上がる花火見つめた夏休み　三年　大恵　秋
紫陽花やしたたる雨の美しさ　三年　江田　愛紗
蛇口からお湯のでてきた夏休み　二年　髙木　琴弥
思い切りペダル踏み込み夏休み　二年　佐藤　伽音
水平線遠くぼやける夏休み　二年　谷口　楓香
朝寝坊あせって起きた夏休み　二年　佐々木　ひかり
紫陽花や水のしたたり乱反射　二年　赤嶺　済
体操着すぐに乾いた夏休み　二年　福永　花
夕暮れの都会を歩く夏休み　一年　近藤　結依
紫陽花やしずくが垂れる花揺れる　一年　松井　雄飛
繋ぐ手や人混みはぐれる夏休み　一年　渡辺　智晶
繋ぐ手や子と母笑う夏休み　一年　藤井　瑠菜
思い切り蚊をひっぱたく夏休み　一年　黒森　遥太